

# モノづくりからコトづくりへ

雛松会も本年で創立141周年を迎えます。昨年は創立140周年式典を開催する予定でしたが、コロナウイルスの影響により見送ることとなり、本年4月16日に都シティ大阪天王寺にて総会のみ開催する予定となっていました。私も11年前、雛松会会長を務めさせていただきましたが、この度、次期会長を吉村計三様にお願い申し上げました。コロナ禍の状況にはよりますが、皆様方のご参加をお待ちしております。

さて、世界経済は、ここ数年で

コロナ禍により自まぐるしく変化し、中国で発生したコロナウイルスの影響で、経済が混乱するに至りました。国内では、国民の皆様が56年ぶりの開催を待ち望んでいました東京オリンピック2020も最大の感染者防止対策を整え、無観客という過去にない形で開催され、数々の感動シーンの中終了いたしました。しかし、海外からの多くの観戦客や有観客での開催で準備をされていた運送業界、ホテル業界等様々な業界に厳しい状況を突きつけました。



雄松会会長  
80期(昭和36年卒)

西川 雅夫

又、全国高校野球大会は応援団を入れての開催がありました。多くのイベントや催事展示会、旅行、飲食も引き続き自粛の方向で、経済活動や日常生活も自粛ムードの中、不安な状況が続きました。

一方、教育現場においては、GIGA構想で、パソコンやタブレットを小学校1年生から中学校3年生まで約900万人に配布され、リモート教育の導入が本格化してまいりました。欧米諸国や中国などに相違離れを

いた思われます。そのような利己から利他への精神文化を創造することは、その背景にあるグランドデザインともいべき思想がコトづくりの文化を育み、やがて社会に受け入れられていくことでしょう。コロナ禍の下、世界的な観点で捉えなければならない情報共有化の必然性が地球規模で全てを捉えなおして考えるコトづくり文化に進化していくことが、今、求められています。

モノづくりからコトづくりへ、モノを中心思想からコトを中心思想へのものに対する文部科学省の取り組みが方変化し、新たな教育基本方針を行っています。詰め込み教育から考

えておりましたが、本年より、教育そのものに対する文部科学省の取り組みに、持続可能な開発を目標に取り組まなければなりません。

本年で創立141周年を迎える、歴史と伝統に培われた気品と、かな活力、時代を生き抜くコミュニケーション能力を兼ね備えた雛松会一同様が、さらに結束力を高め、世界に向けてクローバルに、次世代に渡り末永く活躍されることを期待申上げます。

## 雛松

第53号



令和4年3月20日

### 雛松会

大阪教育大学  
附属天王寺小学校  
〒545-0053  
大阪市阿倍野区松崎町  
1丁目2-45

### <主な記事>

- ◆会長挨拶、総会・ジュニア会案内……1面
- ◆名誉会長挨拶、転出の先生方……2面
- ◆附小NOW(変化する学習形態)……4面
- ◆近況報告エトセトラ……3面
- ◆名譽会長挨拶、転出の先生方……2面
- ◆附小NOW(GIGAスクール)……5面
- ◆年会費納入者一覧……6面

## 雛松会140周年記念総会・祝賀会中止のお知らせ

昨年開催予定から本年4月16日(土)にリーガロイヤルホテルにて開催が延期・予定されていた「雛松会140周年記念総会」は、新型コロナウイルスの感染拡大が未だ収束しない状況を鑑みて、中止となりました。また、本年は総会のみ開催することといたします。

### 雛松会総会(懇親会は開催いたしません)

日 時 令和4年4月16日(土) 14時~

場 所 都シティ大阪天王寺 5F 竜田の間

大阪市阿倍野区松崎町1-2-8

(JR天王寺駅東口正面) TEL06-6628-3200

※総会はリモートでも参加できるように設営を予定しております。

詳しくは雛松会のホームページをご覧ください。<http://hinamatsu.com>

### 雛松ジュニア会

#### ジュニア会参加者の新型コロナ対策の注意点

- ・マスクを着用してください。
- ・入校時に検温、消毒をお願いします。
- ・37℃を超える発熱や、鼻水・のどの痛みなどの風邪症状が認められる場合は参加を控えてください。
- ・必ず手袋を持参して接触を防ぐようにしてください。
- ・校内での飲食は禁止します。水分は適宜摂ってください。
- ・校舎内へは立ち入りを禁止します。

★平成27年卒～令和4年卒の人

日 時 令和4年3月26日(土)

AM10:00～12:00

場 所 母校(附属天王寺小学校)

# 「伝統と革新」

## 子どもの豊かな学びを保証



大阪教育大学  
附属天王寺小学校校長  
**鉄口 宗弘**

**卒業生記念品**  
**141期**

やわらかいシリコン素材  
のペンケース。  
上から押すだけでペンス  
タンドに早変わり!  
ペンが約13本入ります。  
ふた部分には消しゴム收  
納が出来ます。

平素より当校の教育活動に対し、多大なご支援とご協力を賜っておりますこと、この場をお借りしまして深く感謝申し上げます。昨年度同様、今年度も新型コロナウイルス感染症により、学校においても混乱する中、雑松会の皆様に迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。また、雑松会の皆様から、様々な形での寄付・ご援助を頂きました。コロナ禍において品薄のマスクや消毒液等のご寄付、子どもの安全を守る安心して学校に来られるような感染予防に対する指導等、様々なご支援を頂き、本当に感謝しています。

さし、昨年「ひなまつランド」完成のお披露目会を実施しましたが、この「ひなまつランド」は老朽化で撤去されていた滑り台を復活させよう、雑松会140周年記念事業として大きな滑り台をはじめとした複合型の遊具を新たに設置頂きました。お披露目会の際もそうですが、普段、雑松会の方々にお会いした時にも、また以前、天王寺小学校に勤務されていた先生の話をさせていただいた時にも、昔の思い出として校庭にあった大きな滑り台について挙げられる方が多数おられます。

当校では、長い歴史の中、伝統を守りつつ新たなことに挑戦をするよう、教職員一同努めまいりました。コロナ禍においても、

児童の安全を守りつつ、「コロナだから出られない」のではなく、「コロナの中、何が出来るのか、どうすれば出来るようになるのか」を教職員だけでなく保護者の方々と一緒に考え、活動してきました。「ひなまつランド」は、このコロナ禍の中において、昔の伝統を残しつつ、新たな試みを試しながら前にすむといた象徴となっていると言えるのではないかでしょうか。雑松会の方々がお披露目会の際に、昔の遊具の話、特に滑り台の思い出話を花を咲かせておられたり、新たな滑り台を笑顔で楽しんでおられる姿を見させてもらっていると、過去から未来につなぐ「ひなまつランド」を設置頂いたのだと思いました。また、子どもたちが休み時間等で使用する姿を目にしたり、その時に自然と聞こえてくる明るい元気な声を聞くにつれ、今現在在校している児童も雑松会に入会し、あと何年かすれば楽しい思い出として振り返ってもらえるだろうと思います。お賣りになれない、

学校での学びの中で、授業以外にも学校行事も重要です。今年度の行事など、いつも、コロナにより様々な事が変更となりましたが、伝統ある行事である夏の臨海学舎についてはプログラムを工夫しながら実施することが出来ました。通常であれば5・6年生合同で実施するのですが、今年度は別日で実施し、長距離を泳ぐ辛さや、じんじき感切ることにより、充実した気持ちで臨海学舎を終えることが出来ました。また、運動会(スポーツデー)や学芸会も密を避けながら実施することでき、今後とも形を変えて、新たなことに挑戦するための手法として、昨年度より教科横断的な学習として、STEAM教育の実現を目指したカリキュラム開発を行っています。STEAM教育とは、Science(科学) / Technology(技術)、

### 離任された先生方

#### 内堀友寛 先生

平成27年4月～令和3年3月  
(体育科)

八尾市立久宝寺小学校に赴任されました

#### 和田秀昭 先生

平成26年4月～令和3年3月  
(理科)

岸和田市立城北小学校に赴任されました

#### 金田良平 先生

平成27年4月～令和3年3月  
(算数科)

大阪市立三津屋小学校に赴任されました

お世話になりました。

### 訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り致します。

#### 松浦 宏先生

（校長）  
昭和63年4月～平成6年3月  
令和3年6月 ご逝去

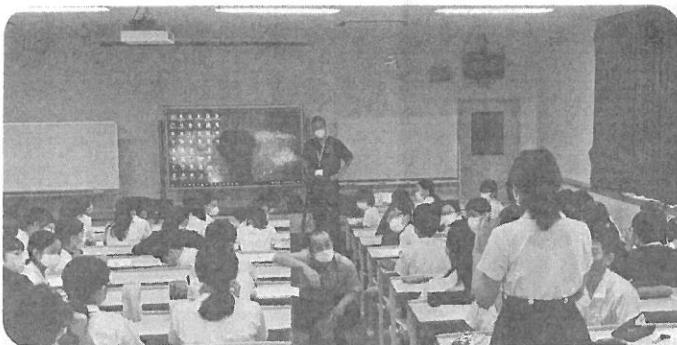
#### 杉野信義先生

（音楽科）

昭和46年4月～平成3年3月  
令和3年 ご逝去

雑松会では、毎年卒業生に記念品を贈呈していますが、本年度141期卒業生には、写真の「スタンダードペンケース」を贈ることになりました。





# 「ようこそ！ 先輩！」

附天小雞松會相當

清水 大

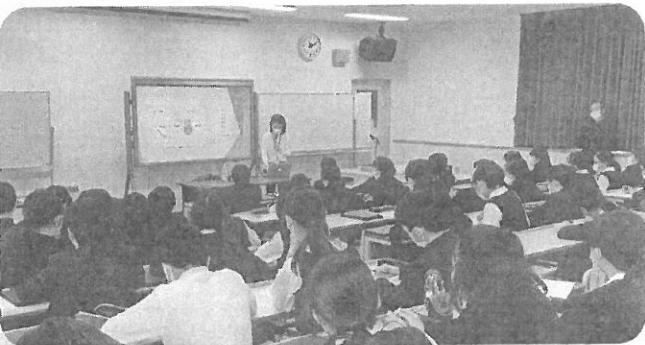
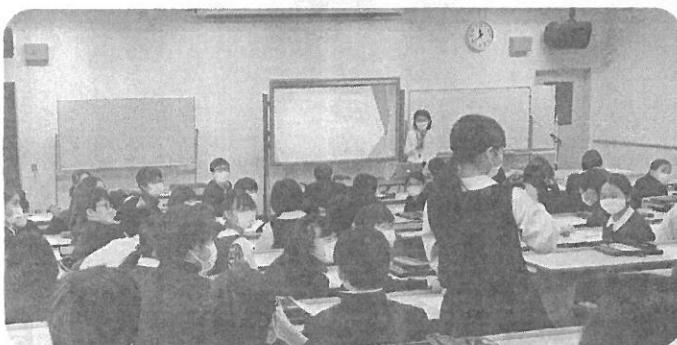
卒業生の中川真紀樹に井戸博士のお仕事について伺いました。中川様は司法試験に合格され、まもなく研修過程を終えられ現場で働かれることになります。井戸博士のなり方のご自身の勉強の仕方など、用意していただいたプレゼン画像を交えてわかりやすく授業を進めてくださいました。年齢が近いこともあり、子供たちも親しみを感じながらもたくさんいろいろなことを学ぶことができました。

「プロの仕事」「プロの精神」を直接、肌で感じながら学ぶことの出来た「一期1年生だらうも少なく卒業です。誇らしい成績で卒業したとき、「附小鬼」を胸に、未来へと社会のリーダーとして輝いてくれるといふじょうづ。

「プロに学ぼう」というキャリア教育的な学習に取り組みました。そして、様々な職業の方々にゲストティーチャーとして学校に来ていただき、「プロのお仕事」について直接お話を伺いました。

その中で、9月には本校PTA会長、97期（昭和53年）卒業生の西村泰彦様に来ていただき、医療のお仕事についての特別授業を行っていただきました。内視鏡による先端医療のことや、西村様自身が取り組まれている発展途上国への支援ボランティアのことなど、映像と迫力あるお話を数々に6年生の子どもたちはすばり引き込まれ、やがて夢中で鉛筆を走らせていました。

また、12月には、127期（平成27年）まで、



後藤 忠彦  
雑誌第52号を拝見拝読いたしました。巻頭の鉄「校長挨拶文を拝读し、コロナ禍の下、母校運営の奮闘に感動しました。COCOA Rで母校の最新画像を拝見、懐古。  
\* \* \*

71期（昭和27年卒）  
鶴川 敏彦  
後期高令者ながら、教育にかかる事業を盡んでいます。昨今の状況からもなれば必要性を感じています。これからも益々の御発展をお祈り申し上げます。

73期（昭和29年卒）  
奥尾 三紗子（旧姓 山本）  
アマゾンから電子本を発行致しました。「素敵に装う為のトレンドバーチャルギング」です。乗じてアッシュ・ショーン・デザイナーの本です。

富家 孝  
生まれています。残り少ない人生の時間ですが、もうちょっとと「へこたれず」やります。仕事は、言わば医療現場のプロ一ヵ一年たいなものですですが、元は医者ですから、時々診察します。また「よみうりドクター」、夕刊フジはレギュラーで書いています。

93期（昭和49年卒）  
林克次  
「皆さん、お元気ですか。」  
今年還暦を迎える私は、テ  
ニスというスポーツを通じ  
て、東京オリンピックまで  
シク聖火リレー・ランナーに  
選ばれました。聖火リレー  
はコロナ禍で一年延期さ  
れ、2021年7月13日当  
日は点火セレモニーのみと  
なったましたが、東京都東村  
山市で、「世界平和への願  
い」と「今まで出逢えた全  
ての方々への感謝の気持  
ち」を込めて聖火を繋ぎま  
した。「コロナ禍収束や災害  
がらすじに、冴え立つま  
復興を願いながら、「生き  
ていようと」声がされてい  
ることに感謝し、ると  
附小校歌の節「風切りな  
がらすじに、冴え立つま  
幸福です。  
幸成

級・友・か・ら・の

近況報

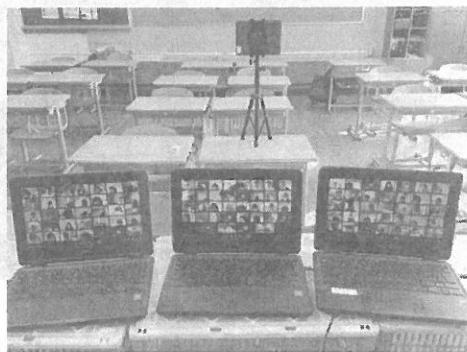
エ・ト・セ・ト・ラ

昨年寄せられた近況報告の中から掲載しています。年に一度の会報発行ですので、タイムリーに報告出来ないのが残念です。

JINOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW・附小NOW

# 変化に対応する 子どもたち」

今日の学校現場では、コロナ禍における感染対策の視点から授業や行事に様々な変容をしながら、工夫をして日々の学習に取り組んでいます。



## ——変化する学習形態——



水泳用マスク



学年ごとの臨海学舎

臨海学舎では、密を避ける為、5年生と6年生が別日程で取り組む事となりました。2学年で行っていた時と比べ、人数が少ない分、手厚い指導があるという良い点もありました。



また、例年の運動会は全校児童とその保護者がご参画されていましたが、人が集まりすぎてしまうため、今年度は各学年別日程で行う6日間の「スポーツデー」を代わりに行っています。

来校する人数は6分の1ですが、保護者からすると、全ての種目に我が子が参加するという意味でも見やすく変化しているともいえます。



コロナの影響は行事のみではなく、普段の学習にも変容を与えています。全児童がマスクをして一日を過ごし、毎日の検温や手指消毒も徹底しています。共有物を触ったりする場面では、子どもたちは手袋を着用しています。感染の危険性が高い給食の時間は、全員の机に飛沫防止パーテーションをつけて、完全黙食で食べています。

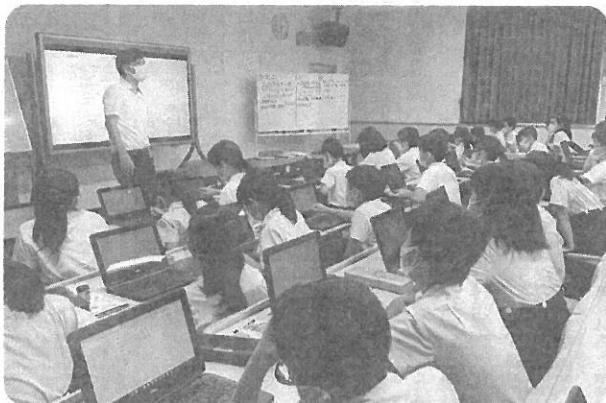
MONNOW・MONNOW・MONNOW・MONNOW・MONNOW・MONNOW・MONNOW・MONNOW・MONNOW・MONNOW

附小  
NOW  
近況  
報告

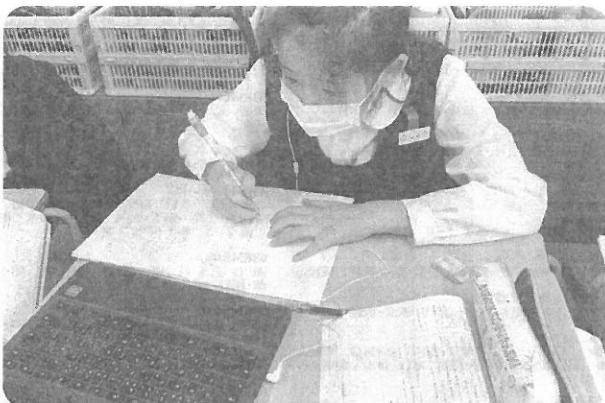
附天小雑松会担当 橋本 峻

# 「Change!」

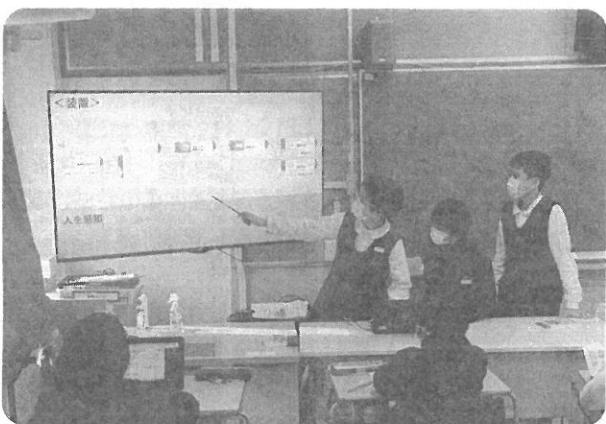
## GIGAスクール



GIGA スクール構想（1人1台端末）



学習端末を使って学習



ICT 機器を使って発表をする子ども



オンライン授業を配信する先生

今年度よりGIGAスクール構想ということで、児童1人につき1台の学習用端末が配布されています。ICT機器の扱いには児童も柔軟に対応できています。自宅でも学習を保証するためGoogle meetを利用しています。オンラインで学習をする児童へ授業の様子がリアルタイムに配信され、双方向で意見交換もあります。また、それぞれの学年オリジナルのオンデマンド動画を学校から配信し、児童たちは動画を見て課題に取り組むという学習も行っています。

